

旅行部会

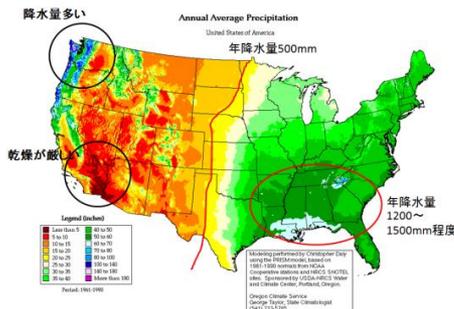
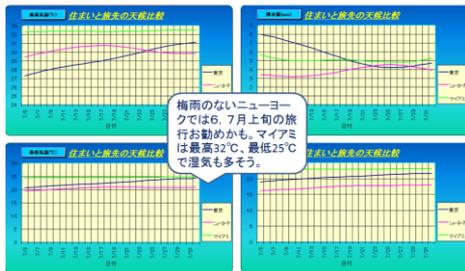
☆旅行のための天気情報開発

- 中・長期予報を活用した旅行用お天気情報を開発中です。
- 会員の旅行時にMLや携帯メールへ各種の天気情報を発信
- 企画旅行への協力、紅葉予報
- 平年値比較ツールの開発
- 海外旅行を視野に入れてアメリカ合衆国、ヨーロッパの気候について研究を開始しました。

☆WebGISを活用した雨雪判定

- 新しい気象情報の開発を目指して関東東海地方の雨雪判定を継続中。
- 2009～2019年の11年間にわたり長利研とPC研のML等を使ってGoogleMapに雨雪判定図を作成し記録。
- 雪雨予想図、降雪量予想図と実況図を比較しモデル検証をしています。
- 防災科研「ふるリポ！」とコラボした観測を継続実施しています。

7月のニューヨーク、マイアミ、東京



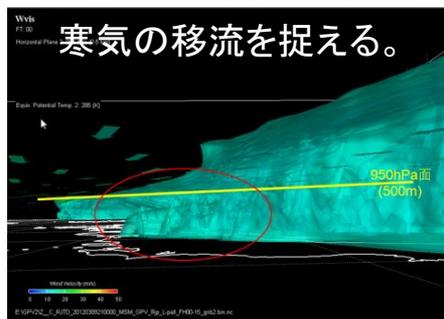
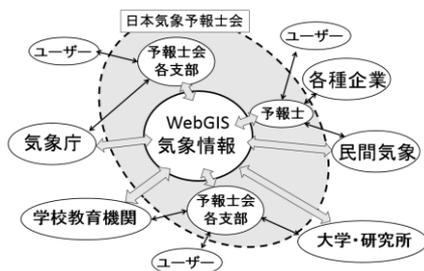
埼玉 体験旅くらぶ

埼玉県を“深”究する体験型旅行情報サイト



積雪深情報図（左）と雨雪予想図（右） 2014年2月8日

WebGISを中心とした「気象情報データベース」の構築



全国旅行業協会・機関誌「ANTA NEWS」に 旅行部会の活動を3回シリーズで連載!

連載寄稿
集中連載 第5回
地球ウォッチャーズ—気象友の会—通信

「備えあれば憂いなし—旅の安全・安心を考える—」

大西 晴夫
(のむらに はるむ)

一般社団法人日本気象予報士会 代表理事 会長
気象友の会 理事

地球ウォッチャーズ—気象友の会—は、気象、地震、火山などに関心のある方々が集い、地球環境や防災への関心を高めるための団体です。気象友の会の理事を務めておられる一般社団法人日本気象予報士会 代表理事会長の大西晴夫さんに、「天気と旅」に関するエッセーを連載していただきます。

連載寄稿

① ② ③ ④

話題:ア、土石流 イ、洪水 ウ、津波凝滞ビル エ、崖くずれ

資料2: 災害種別別各種標識
[日本標準工業会: <http://sign-maq.jp/Z%209098%20guide.pdf>より引用]

例えが気象庁の天気予報(府県予報)は、毎日5時、11時、17時に更新されますので、今んでいる天気予報が最新のものか確認してから利用するようにして下さい。地図は拡大縮小が自由にできて、市区町村レベルまでズームアップできます。操作方法は、自分のいる位置を地図上で拡大して降水域と降水強度を確認しましょう。そして動画で確認して、このコンテンツの優れたところは、1時間先までの降水域の変化を予想してくれることです。あくまでコンピュータによる予想ですから利用には注意が必要ですが、「これから雨が降るかどうか。雨がいつ頃降り出す(または止む)のか。」などをかなりの精度で予想することができます。他にも民間の気象情報サイトや東京都水産局がやっている「東京メッシュ」など非常に高精度の降水データを地図上に表現してくれるものがあります。「備えあれば憂いなし」は中国古典にも伝わる防災格言の一つですが、これは旅行時にも当てはまることです。いざという時に慌てて防ぐことができたはずの災いに巻き込まれないために、旅行の計画段階から旅行終了まで、いろいろな場面を想定して旅行防災の意識を高めていきましょう。

これまで3回に亘って旅と気象の関係をテーマに話題を提供させて頂きました。如何だったでしょうか。天気予報を活用して、「楽しく快適で安全な旅」を旅行者に提供するために、今後も地道に研究開発をしていきたいと考えています。ここまで読んで頂き、誠に有り難うございました。

資料3: 多様な気象変化を事前に予想できる気象コンテンツ(気象庁HPより高解像度降水ナウキャスト)

※1: コールセンター期間における高速道路・国道の交通状況(速報) [全国版] http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_0h_00839.htm
※2: 中山秀良(2006)「利用者サイド立った天気情報の開発—旅行用天気情報の研究と実践」日本気象学会大会講演予稿集66
(文責: 日本気象予報士会 長期予報活用研究会 旅行部会 中山秀良)



資料1: 観光庁による外国人旅行者向け防災情報アプリ(Safety tips)のダウンロードサイトより引用

として利用することもできます。

してきていますが、内容が充実してきたらいつか減災に直結するかという点、それほどには、ある程度の旅行防災に関する知識と経験が必要だからです。ハザードが切迫し、刻一刻と防災情報を含ませるなど、旅行者とのやり取りの中で防災意識の向上と災害情報の送り手側も元の気象予報士と連携を取るなど、旅行防災を進めるための努力

地球ウォッチャーズ—気象友の会—とは

「気象・海洋・地震・火山」など地球をとりまく自然現象に関心のある方々が集う会です。会員相互の経験や気象庁との交流を通じて、気象知識の向上や、地球環境への関心と防災への意識を高めることを目指しています。

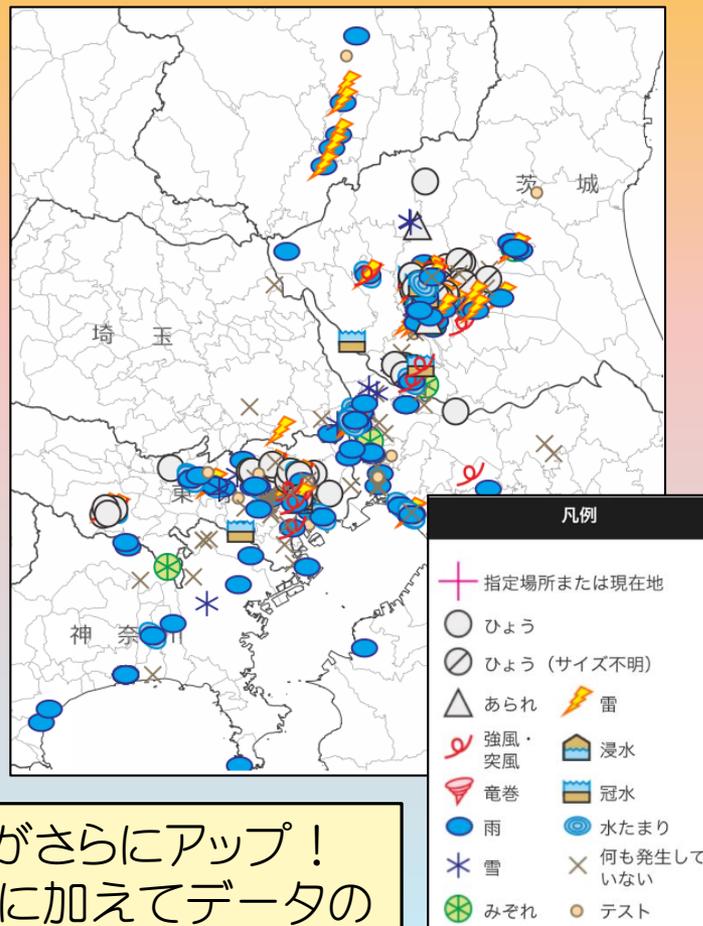
ご入会いただけますと、施設見学会や気象庁の講演会へご招待、「食報」や「広報室便り」をお届けします。

また気象情報や電子をプレゼントします。

「旅行と防災—旅の安全・安心を考える」
2017年度日本気象学会秋季大会専門部会
「気象とくらし～北の大地からのイノベーション」
2017年11月2日(木)・北海道大学にて発表

統一する動きになってきているようです。これなどもテキスト形式にするなど楽々する工夫をして旅行者に事前に知らせておく、いざという時

防災科学研究所の「ふるリポ！」と 長利研・PC研の「雨雪判定」が連携！ スマホで気象観測をしませんか？



「ふるリポ！」の機能がさらにアップ！
コメントと写真が送付に加えてデータの
ダウンロードも可能になりました！

ふるリポ！
ひょう・雨・雪・風・洪水レポート！
みんなで防災研究に参加しよう！

あなたのレポートが防災に役立つ！

- ひょうが降ってきた！
着に濡く知らせなさい！
- 雪が降り出した！
気をつけよう！
- 日替わり防災クイズ 今日も正解！
楽しい！

「ふるリポ！」で
気象レポート！
注：安全な場所に移動してから
レポートをお願いします。

「ふるリポ！」で
レポートマップを
みる！

「ふるリポ！」で
防災知識！

送信
気象災害の監視・
予測研究に役立ちます！

QRコードで
「ふるリポ！」に
今すぐ
アクセス！

ツイッター
「Twitter」も
見てね！

「防災科学技術研究所」で
レポートを活用！

<https://fururipo.bosai.go.jp/fururipo/>

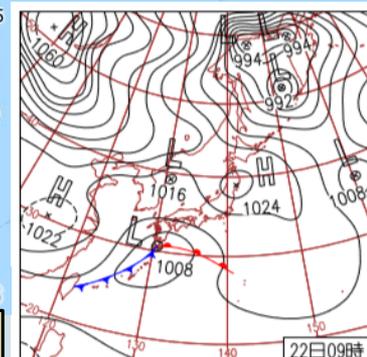
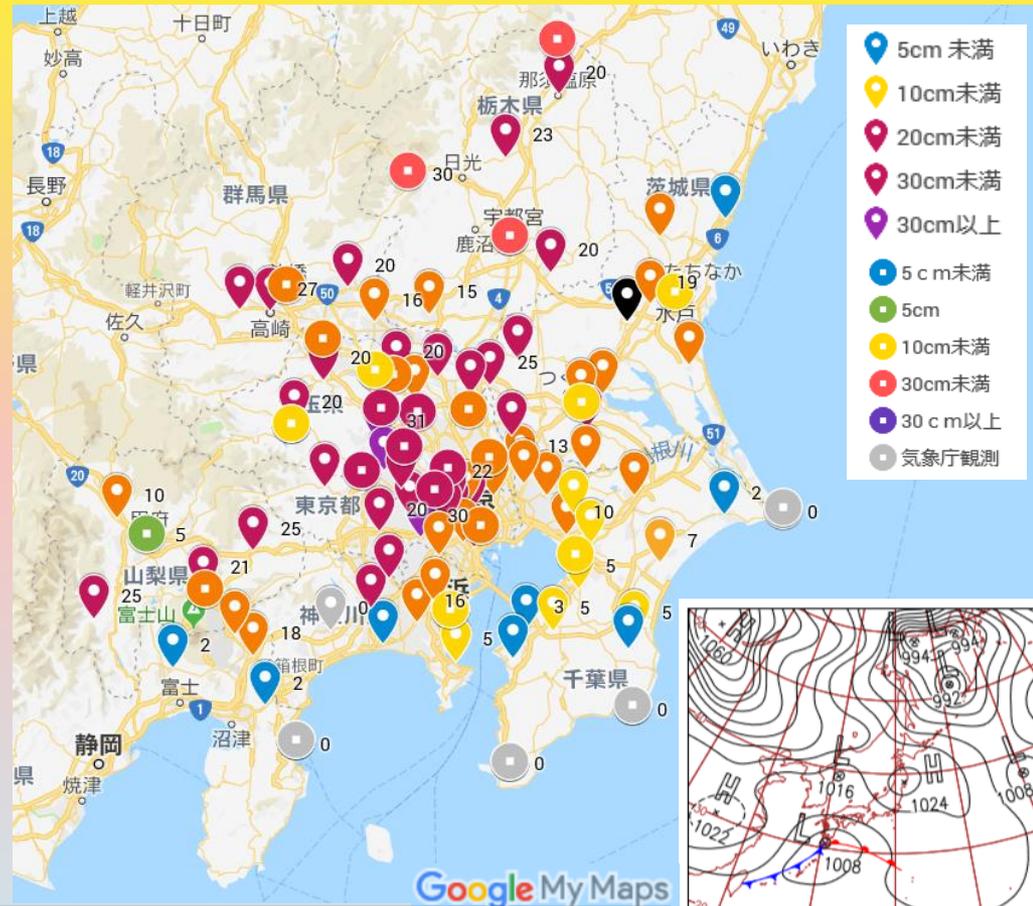
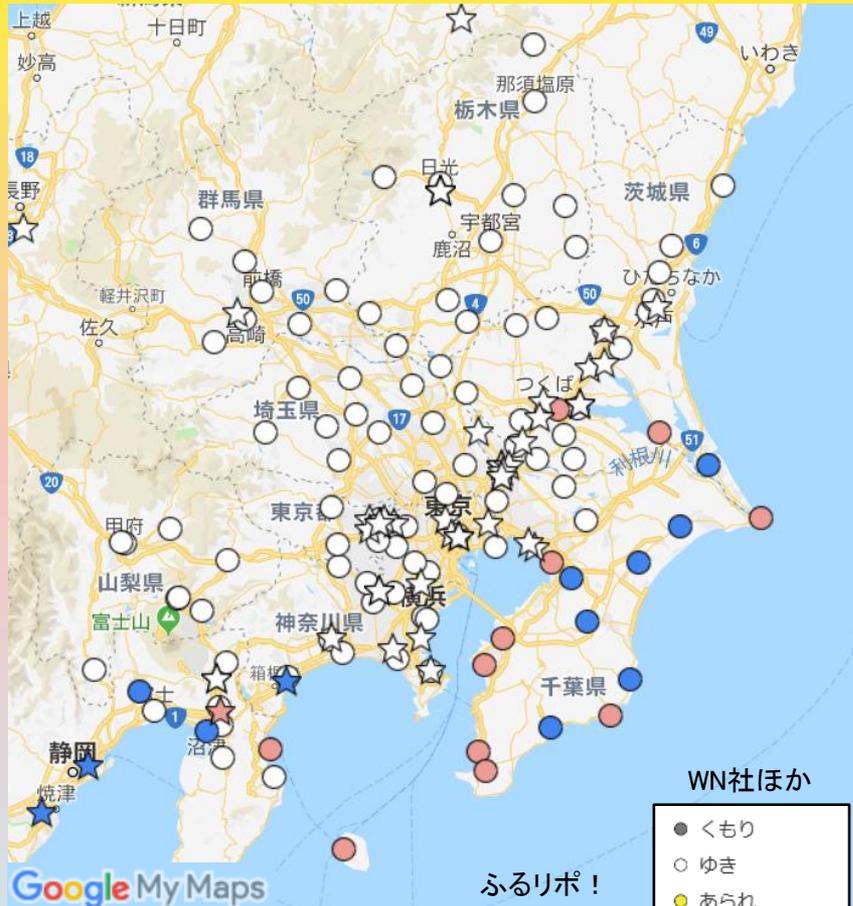
https://twitter.com/fururipo_nied

2014年以来、東京で23cmの積雪を記録！

2018年1月22日の雨雪判定結果より

1月22日15:00-18:00の雨雪判定図

1月22日～23日の積雪情報図



20cm超は2014年2月以来4年ぶり。低気圧が南岸を進み夜は伊豆諸島付近へ。北日本の一部を除き全国的に雨や雪、関東中心に大雪。甲府・横浜など初雪。奄美市でヒカンザクラ開花。

「関東地方の雨雪判別－2018年1月22日の降雪事例より－」 2018年度日本気象学会秋季大会専門部会「局地気象とくらし」 2018年11月1日(木)・仙台国際センターにて発表

「ふるりポ！」と初めて連携しました！

★ふるりポ！ & 雨雪判定・ただ今観測中！

長利研とPC研の共同研究である関東雨雪判定観測会は、昨年から防災科学技術研究所の「ふるりポ！」に全面協力し関東地方の雨雪観測を実施中です。スマートフォンで簡単に報告できて、コメントや写真も添付できます。皆様ふるってリポートお願いします！



防災科研ふるりポ！ → <https://fururipo.bosai.go.jp/fururipo/> ふるりポ！について → <http://mizu.bosai.go.jp/key/fururipo>
関東雨雪判定観測会は長期予報利活用研究会とパソコン活用研究会のML(メーリングリスト)にて展開中！